

人権を考える

只見中に感謝状、長谷部さんの作品が優秀作品に



▲表彰状を受け取った長谷部さんと入谷校長

長谷部七歌さん(只見中2年)が、「第44回全国中学校人権作文コンテスト福島県大会」において、「子ども人権委員会委員長賞」に選ばれました。また、多くの生徒が応募したことから、只見中学校に感謝状が贈呈されました。

表彰式は、12月18日に只見中学校で行われ、福島地方法務局若松支局の宗像支局長から、長谷部さんと入谷校長に賞状が手渡されました。

東京で只見町をPR

若者交流事業 & 「新春もちつき大会」

「南会津地域『ワカモノ』ピッチ事業」(南会津地方振興局主催、只見米ブランド協議会受託)は、1月11日に渋谷ヒカリエ(東京都)で行われ、只見町の若者と只見町に縁のある若者が交流を交わし、只見町の将来ビジョンなどについて意見交換をしました。

また、翌12日に開催された「祝成人の日『新春もちつき大会』&ヘブンアーティスト」では、只見高校生や只見米ブランド協議会らが参加し、只見町のPRを行いました。もちつき大会は福島県の復興応援を目的に例年開催されています。



▲只見町をPRする只見高校生たち

迎春を来場者と祝う

只見スキー場「お正月歓迎イベント」



▲雪に埋まりながら前進する子どもたち

「お正月歓迎イベント」が1月1日に只見スキー場で開催され、「雪中宝ひろい」には、イベントを目的に来場した親子やスキー客ら約80人が参加しました。

雪中宝ひろいは、雪の中に隠れている景品引換券入りのカプセルを探し出すもので、ゲレンデ端の未庄雪箇所で行われ、参加者は雪をかき分けながらカプセルを探しました。

参加した子どもたちは、「歩きにくかったけど、すごく楽しかった」と笑顔で話しました。



▲団員へ訓示を行う目黒団長

今年一年の無災害を祈願

「只見町消防出初式」が行われる

「只見町消防出初式」が、1月10日に朝日公民館で開かれました。式では、町の無火災無災害祈願や、危険を伴う現場で活動する消防団員などの安全祈願が行われました。

目黒消防団長は、「有事の際には一丸となって対応にあたり、町民の財産生命を守れるようにしてほしい」と訓示と団員やその家族への感謝を述べ、また関係機関への感謝と引き続きの協力のお願いを伝えました。

今年も火の用心をお願いいたします。

伝統の味を雪まつりで

食生活改善推進員会「ニシン漬け」を行う

只見町食生活改善推進員会は、1月8日に「ニシン漬け」の漬け込みを行いました。今回は約40キロのニシンを3時間かけて調理しました。

一説によると「ニシン漬け」は新鮮な魚を手に入れにくい会津地域でも魚料理を食べられるように、保存性を高めるために作られたものと言われ、只見町でも郷土料理として知られています。

今回漬け込んだ「ニシン漬け」は、2月14日から開催される「只見ふるさとの雪まつり」会場に並べられます。

会場にお越しの際は、ぜひ「ニシン漬け」を味わってください。



▲漬け込み準備をする食生活改善推進員会の皆さん

お正月行事を親子で かるがもクラブ「だんごさし」



▲冬の景色を彩るだんごさしと一緒に記念撮影をしました

かるがもクラブは1月7日に行われ、2組の親子が参加しました。

今回は、お正月行事の由来や時期の解説などが行われ、実際に「だんごさし」を行いました。

だんごさしは、主に福島県や山形県などで行われており、小正月に無病息災や五穀豊穣、家内安全などを願う風習です。

最後には、飾り付けただんごさしと一緒に記念撮影をしました。